

花

木野悦

一輪の花をぼんやり眺めている
花卉の色や葉の形、茎の線
姿の存在感に圧倒される

理論物理学者が語っていたことを想いだす

植物が生きたために動物　　が生まれたのである
植物に先住権がある

美しさにただ見ている時間
ふと気づくことがある
自己の内に止まっていたことが動きだす
花に導かれて自己のリズムを想いだすのだろうか
数々の対話に支えられて
根底から流れていく

花は教えてくれる
一つの花のように自己のリズムを刻むこと
おのずと伝わるリズムで在り続けることを